

値を付加して提供していくたいと考えています。そうすれば、マーケットも伸びて、よい方向にいくと考えていますが、同時にインストラクターの採用・育成も必要になりますから、ここは懸念点ではあります。

しかし、コロナ禍で人々の意識がより自分のライフスタイルに向き、そこにピラティスやヨガを取り入れたいという要望が高まるとともに、資格を取りたいという人たちも増えており、ゆくゆくほかの産業にいる人たちがこの業界に流れてくるのではないかと考えています。当社としてはそこに向かってとれるパイをひたすら広げていくことで、3~5年先には非常に明るい未来が待っているように思います。

大沢:私は希望も含めてですが、業界の未来は明るいと考えています。そう考える理由の1つ目は、感染症というものは歴史的に見ても必ず終息するときが来るからです。終息後にフィットネスに対する需要はまた緩やかに盛り上がっていくのではないかと考えています。

2つ目は、'19年度のフィットネス業界をデータで見ても、増税というマイナス要因があったにもかかわらず、4,950億円の売り上げを出し、店舗数も過去最高にまで増え、会員数も560万人と、とてもよい状況でした。決してこの業界の市場が縮小しているわけではないのです。やや楽観的かもしれませんがあまりつかその状況に戻れるのではないかと思っています。

一方、会員数は元に戻るかというと、それは難しいように感じます。そのため、不足する売り上げを補うために既存周辺事業の強化や新規事業にチャレンジしています。

しかし、あくまでも優先順位は、コスト調整によって利益をしっかり出せる経営体質に変革することが必要だと考えています。

飯田:施設装置産業からは完全に脱却していくでしょう。私はメガロスの創業メンバーとして店舗開発の担当役員を務め、23店舗つくりましたのでわかるのですが、今までいい立地やデザイン性の高い施設ということだけでかなり集客できていたと思います。また、初期投資が抑えられれば、それだけサービスを安く提供できて、ブレイクイーブンも下がりますから価格競争力もできます。そういう意味でいかに「いい開発ができるか」が勝負でした。しかし今は、いい立地であれば必ずしも勝てるわけではありません。先ほどお伝えしたように定義も変わってきていますから、それに合わせられない企業は厳しくなると思いますし、反対に変えることができた企業はどんどん事業チャンスが広がると思います。将来的には我々の競争相手は東京ディズニーランドなどということになるかもしれません。人の働き方も変わっていくでしょう。

※こちらはセミナー内容の前半部分を抜粋したものです。全文はフィットネスビジネス通巻第112号(1月25日発行)にてご覧いただけます。



TopicsII

トピックス2

新型コロナウイルス感染症関連海外情報

アメリカのフィットネス産業団体であるIHRSA(International Health, Racquet & Sportsclub Association)は、このほどオレゴン大学のコンサルティンググループ(OCG)による調査結果を発表し、フィットネスクラブがバーやレストランなどの他の場所とは同じリスクをもたらさないことを示しました。コロラドにおけるデータの分析では、フィットネスクラブの利用とCOVID-19症例の間に、統計的に有意な関連性を示していません。その内容を要約してご紹介します。

トレーニングジムはCOVID感染のリスクが低い

By:Jill Ryan, Executive Director

Colorado Department of Public Health & Environment

ジル・ライアン

エグゼクティブディレクターコロラド州公衆衛生環境局

新型コロナウイルス感染拡大の第二波に対応して、複数の州および管轄区域が、さらなる拡大防止のために複数の事業を再閉鎖するように動きました。

フィットネスクラブのリスクプロファイルが低いことを証明する既存のデータが存在するにもかかわらず、フィットネス施設は、閉鎖または、機能を制限した上での運営を義務付けられている業態の1つです。

IHRSAは最近、オレゴン大学のコンサルティンググループ(OCG)に嘱託し、コロラドのデータを使用して、ヘルスクラブの利用とCOVID-19の症例との関連を調査するよう依頼しました。この要請に対してコロラド州の公衆衛生環境局(CDPHE)は、COVID-19の症例と感染設定の包括的なオンラインデータベースを提供しています。

「メディアからの(ジムの安全性に対する)反対意見と科学界の不確実性は、COVID-19パンデミック中のジムの安全性について、ジムに通う人、クラブ運営者、および為政者に曖昧さをもたらしている」とOCGのシニアマネージャーであるMeganEvans(モーガン・エバンス)は述べています。

「では、実際にデータから何を学ぶことができるでしょうか？」

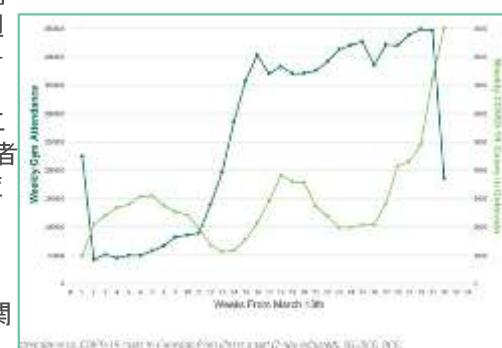
要するに、調査結果は明らかです。ヘルスクラブはバーやレストランのような他の場所と同じリスクをもたらさないのです。

この結果を決定するために、オレゴン大学の研究者は、観察法および統計分析法を使用して、ジムへの出席とコロラドCOVID-19症例データとの関係を調べました。

「まず、コロラドの自己申告による発生の記録(2人以上がCOVIDに感染したイベント)を見ると、ジムはこれまでリストに載っていませんが、バーやレストランは確かにリストに載っています」とOCG社長のCallumKuo(カラム・クオ)は述べています。

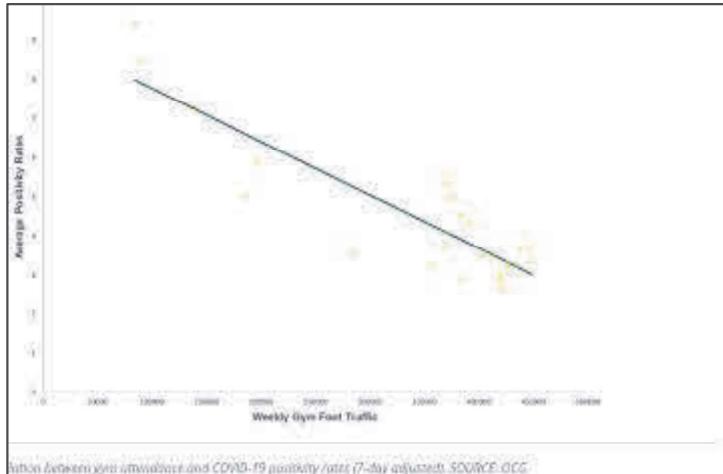
「さらに調査して、コロラドのジムについて得ている情報を比較したらどうなるでしょうか？」

毎週のジム利用データと翌週の陽性COVID-19率との相関関係を調べることにより、研究者はCOVID-19症例率とジム利用率の間に統計的に有意ではない相関関係があることを発見しました。



偶然ではありませんが、CDPHE(Colorado Department of Public Health & Environment)によって発表された最新の強制閉鎖からは、ヘルスセンターとフィットネスセンターが免除されました。

「私たちはステイクホルダーと話し合っていますが、ジムでは皆マスクを着用しているため、ここがリスクの高い設定の一つの環境であるとは感じていません。ジムではソーシャルディスタンスが確保され、機器を常に掃除(除菌)しています。したがって、私たちはジムの営業を許可することに満足しています」と述べました。(CDPHEのエグゼクティブディレクター、ジル・ライアン)



大学グループによる追加の分析では、ヘルスクラブの利用とCOVID-19陽性率の間に負の相関関係があることがわかりま

■方法論について

OCGは、コロラド州の公衆衛生局のWebサイトで入手可能な観測データを調べることからこの調査を始めました。調査で展開された追加の統計手法は、次の3つのステップに要約できます。

1. コロラドフィットネスクラブの利用データは、ABC Fitness Solutions、MindBody、および24 HourFitnessより提供されました。利用データは、850万人近くのフィットネスクラブとスタジオの訪問に達しました。
2. フィットネスセンターの利用は、3月13日から10月15日までの間で、同じ期間のCOVID-19症例データとともに調査されました。
3. 採用されたCOVID-19の症例データは、報告日ではなく発症を反映するように選択され、その後、ウイルスに感染してから2~14日後に症状が現れるという米国疾病予防管理センターのガイダンスに基づいて、感染期間を考慮して一週間(7日)ずらしました。

「私たちはステイクホルダーと話し合っていますが、ジムでは利用者はマスクを着用しているため、ここがリスクの高い場であるとは感じていません。ジムはソーシャルディスタンスが確保され、設備も掃除しています。ですから、私たちはジムの継続を許容することに抵抗はありません。」

■追加の研究ニーズとデータに関する警告

ほとんどの研究がそうですが、さらなる調査と議論を必要とする発見には限界があります。

まずははじめに、分析されたデータは単一の州の結果を表しています。

理想的には、包括的なCOVID-19症例データがすべての州で利用できるのであれば、分析は全国的に実施できます。

第二に、サンプルサイズは32週間で構成されており、最近のCOVID症例の急増に伴い、外れ値データを失格にするためにさらに堅牢

した。負の相関は通常、逆の関係を意味します。ただし、ヘルスクラブの利用が陽性率を低下させているとは言えません。代わりに負の相関は、この負の相関を説明する可能性のある“変数”に関する議論を容易にするはずです。

■重要なポイント

コロラドのデータに基づくと、ヘルスクラブの利用とCOVID-19の症例との間に相関関係はありません。レストランやバーのような他の公共スペースと比較して、フィットネス施設はリスクの低い環境です。ただし、ヘルスクラブやフィットネスクラブが実施している安全プロトコルと対策が、この結果に影響を与えている可能性があります。

「相対リスクの評価に関しては、合理的かつ批判的である必要があります。そして、コロラドで見られる事例に基づくと、ジムはバーやレストランと同じリスクカテゴリに属していません」とKuo氏は説明します。

「州は、ジムを取り急ぎで閉鎖した上で、他の州の反応を見て最終決定を下すのではなく、その前にデータをより綿密に調査する必要があると考えています。」

OCGの分析は、私たちがすでに知っていることをあらためて確認しています。ヘルスクラブはCOVID-19感染を推進はしていないのです。

最新の研究は、クラブ運営者がアクセスできる知識体系に追加され、そして為政者は事業の閉鎖を義務付ける際にこうした研究データをもとに熟考する必要があります。オレゴン大学の調査結果の詳細は、OCGのLinkedInページで入手できます。

なテストが必要です。

第三に、陽性のCOVID-19症例は、米国でのパンデミックの前にヘルスクラブの利用率が高かった3月12日より前のものは利用できません。

最後に、分析から省略された変数を説明するために、さらなる分析が必要です。ジムの質的要因は十分に考慮されておらず、ジムが感染の可能性が低いとはいえ、今後リスクの低い環境を確保するための研究に貢献する可能性があります。

(レポート)
Melissa Rodriguez
(メリッサ・ロドリゲス)

IHRSAのシニアリサーチマネージャーとしてヘルスクラブ消費者、クラブ運営、および国際市場向けの研究イニシアチブ関連を監督しています。

